

“彩の国ビジネスアリーナ2018”に出展し “JA2018 TOKYO”をPR

国際航空宇宙展2018東京（JA2018 TOKYO）のPR、出展者誘致・来場者誘致のため、2018年1月24日（水）～25日（木）の2日間、埼玉県・さいたま市で開催された「彩の国ビジネスアリーナ2018」に出展・参加したので紹介する。

1. 彩の国ビジネスアリーナ2018の概況

(1) 開催概要

開催日時：2018年1月24日(水)10：00～18：00

2018年1月25日(木)10：00～17：00

開催場所：さいたまスーパーアリーナ
(埼玉県・さいたま市)

主催者：埼玉県／公益財団法人埼玉県産業振興公社、他

出展規模：660企業・団体 819小間

前回2017実績

653企業・団体 815小間

前々回2016実績

642企業・団体 845小間

また、来場者数（主催者発表）は以下のとおり。

1日目（1/24）：

8,816名（2017：8,787名 2016：8,956名）

2日目（1/25）：

8,340名（同：8,355名 同：8,277名）

来場者合計：

17,156名（同：17,142名 同：17,233名）

(2) 展示会の概況

会場は、さいたま新都心駅から徒歩ですぐの所にある、“さいたまスーパーアリーナ”を展示会場として開催された。

この展示会は、“中小企業の受注確保・販路開拓、技術力向上を促進するため、広域的な企業間連携等による新たなビジネスチャンス創出の場を提供する”ことを目的とした展

示商談会であり、埼玉県の中小企業を中心とした多数の出展者が出展していた。

展示内容は、製品、加工技術・部品、ITソリューション、エネルギー・環境、市町村商工会等連携出展、その他の多岐にわたる展示がされていた。

また、グローバルゾーンでは、台湾、ベトナム、タイ、インドネシアの機関、企業が出展し、海外展開に取り組む企業とのビジネスマッチングの機会を提供していた。

航空宇宙関連の企業・団体は先端産業ゾーン（航空・宇宙）に出展、SJAC会員企業からは株式会社IHI、株式会社SUBARU、日本航空株式会社の各社が出展、また宇宙航空研究開発機構（JAXA）も先端産業ゾーンに出展していた。



彩の国ビジネスアリーナ
展示会場全景



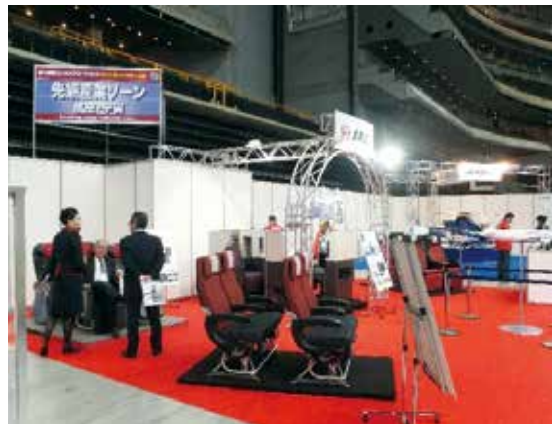
宇宙機器の模型展示 (IHI)



エンジンの模型展示 (IHI)



新型ヘリコプターの模型展示 (SUBARU)



座席の展示 (JAL)

2. SJACの活動概況

SJACは、先端産業ゾーン（航空・宇宙）にJA2018 TOKYOのPRを目的としたブースを出展、JA2018 TOKYOの出展誘致・来場者誘致に重点を置いた活動を実施した。

SJACブースには、出展各社、地方自治体等の関係者の来訪があり、JA2018 TOKYOに関する問い合わせなど、これらの方々に対する有効な説明・PR活動を実施した。



SJAC展示ブース

3. 所感

本展示会は、660の企業・団体が出展する、規模の大きな展示会であり、盛況であった。ただし、展示内容は“航空宇宙”にテーマを絞ったものではなく多岐にわたっていたため、航空宇宙関連産業以外の方々の来訪も多かった。

これらの航空宇宙関連産業以外の来訪者に対して、JA2018 TOKYOという、航空宇宙にテーマを絞った展示会の存在を知ってもらう良い機会となり、充実した展示会であったと感じた。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 国際航空宇宙展事務局 部長 長井 利幸〕